

卒業式を終えて

3月は別れの時です。本校でも6年生41名と他校へ転出となった3名、それに教職員10名とお別れすることになりました。別れは次のスタートへの大事な節目。しっかりした節を作るためにも、きちんとお別れしなければなりません。

5日には児童会主催の「6年生を送る会」が行われました。1～5年生から卒業生に向けた心温まるメッセージや手作りのプレゼントがあり、卒業生からも心をこめた合唱「栄光の架け橋」のお返しがありました。参加したすべての人の心があたたかくなる時間となりました。(詳細は学年のページをご覧ください)

その後、6学年では卒業式練習を積み重ね、1～5学年も「卒業式の歌」の練習などを繰り返してきました。「全校でよい卒業式にするぞ」という思いが各所に感じられました。そんな折に、いくつかの学年でインフルエンザでお休みする児童が増え始めました。幸い学級閉鎖になることはありませんでしたが、一人が元気になるとまた別の一人が…といった様子でした。

卒業式当日の18日。卒業生を教室で待っていたのは「黒板アート」です。本校職員のお子さんが美大出身ということで、15日の夜、お友だちと二人で小学生のために制作してくださいました。いつもの教室が華やかなお祝いの場へと様変わりし、子どもたちもすてきなサプライズに笑顔を見せていました。



そして式本番。主役の卒業生は実に立派な姿を見せてくれました。そして在校生も、大好きだった6年生のためにしっかりした態度で式に臨んでいました。一人一人に卒業証書を授与できたこと。6年間で大きく成長してくれてくれたことを校長としてうれしく思いました。保護者の皆さまもさぞかしお喜びであったことと思います。中学校生活は個性の伸長に結び付く大事な3年間です。今後益々のご発展とご多幸をお祈りいたします。

21日、もう一つの卒業式を開きました。18日に参加できなかった児童がいたので、全校でというわけにはいきませんでしたので、卒業生2名と保護者の皆様、それに本校の教職員で実施する予定でした。しかし、この日に卒業式に参加する仲間がいると知った6年生が何人も集まってくれました。みんな揃って、これで本当に令和5年度41名の6年生が卒業です。全員がしっかり節を作ることができたと思います。

春からは中学生。元気にスタートしてください。今まで学校を引っ張ってきてくれてありがとう！ さようなら。

